生駒市規則第 1 2 号

給料等の支給に関する規則等の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 7 年 3 月 3 1 日

生駒市長 小 紫 雅 史

給料等の支給に関する規則等の一部を改正する規則

(給料等の支給に関する規則の一部改正)

第 1 条 給料等の支給に関する規則（昭和 3 2 年 7 月生駒市規則第 3 号）の一部を次のように改正する。

第 3 条第 1 項中「扶養親族」を「他に生計の途がなく主としてその職員の扶養を受けている者」に、「次の各号のいずれかに該当する」を「次に掲げる」に改め、同項各号を次のように改める。

(1) 職員の配偶者（届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下同じ。）、兄弟姉妹等が受ける扶養手当又は民間事業所その他のこれに相当する手当の支給の基礎となっている者

(2) 年額 1, 3 0 0, 0 0 0 円以上の恒常的な所得があると見込まれる者

第 3 条の 2 を次のように改める。

(届出)

第 3 条の 2 新たに条例第 7 条第 1 項の職員たる要件を具備するに至った職員は、市長が定める様式の扶養親族届により、その旨を速やかに任命権者に届け出なければならない。扶養手当を受けている職員の届出に係る扶養親族の恒常的な所得の年間の見込額その他の扶養の事実等に変更があった場合についても、同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、任命権者において扶養の事実等を認定することができる場合として市長が定める場合には、同項の規定による届出を要しな

い。

第3条の2の2第1項中「前条」を「前条第1項」に改め、同項に後段として次のように加える。

同条第2項に規定する場合においても、同様とする。

第3条の2の2第2項中「事項を」の次に「市長が定める様式の」を加える。

第3条の2の3を第3条の2の4とし、第3条の2の2の次に次の1条を加える。

(支給の始期及び終期)

第3条の2の3 扶養手当の支給は、職員が新たに条例第7条第1項の職員たる要件を具備するに至った日の属する月の翌月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月）から開始し、職員が同項に規定する要件を欠くに至った日（市長が定める場合にあつては、当該要件を欠くに至った日以降の日で市長が定める日）の属する月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月の前月）をもって終わる。ただし、扶養手当の支給の開始については、第3条の2第1項の規定による届出が、これに係る事実の生じた日から15日を経過した後に行われたときは、その届出を受理した日の属する月の翌月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月）から行うものとする。

2 扶養手当を受けている職員にその月額を変更すべき事実が生じたときは、その事実の生じた日の属する月の翌月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月）からその支給額を改定する。前項ただし書の規定は、扶養手当の月額を増額して改定する場合について準用する。

第3条の3中「配偶者（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下同じ。）、父母又は配偶者の父母で、職員の扶養親族

たる者(条例第7条に規定する扶養親族で条例第7条の2第1項の規定による届出がされているものに限る。以下同じ。)以外の者」を「職員の扶養親族たる者(職員の配偶者で他に生計の途がなく主として当該職員の扶養を受けているもの及び条例第7条第2項に規定する扶養親族をいう。以下この号において同じ。)が所有する住宅及び職員の配偶者、父母又は配偶者の父母で、職員の扶養親族たる者以外のもの」に改める。

第3条の5中「(定年前再任用短時間勤務職員を除く。)」を削る。

第3条の7に次の2項を加える。

2 前項の場合において、やむを得ない事情があると認められるときは、添付すべき書類は、届出後速やかに提出することをもって足りるものとする。

3 第1項の規定にかかわらず、任命権者において居住の実情を認定することができる場合として市長が定める場合には、同項の規定による届出を要しない。

第3条の8第1項中「前条」を「前条第1項」に、「若しくは」を「又は」に改め、同項に後段として次のように加える。

前条第3項に規定する場合においても、同様とする。

第3条の9を次のように改める。

第3条の9 第3条の7第1項の規定による届出に係る職員が家賃と食費等を併せ支払っている場合において、家賃の額が明確でないときは、任命権者は、市長の定める基準に従い、家賃の額に相当する額を算定するものとする。

第3条の10第1項中「欠くに至った日」の次に「(市長が定める場合にあっては、当該要件を欠くに至った日以降の日で市長が定める日)」を加える。

第4条の4第3項中「(次項)」の次に「及び第4条の7第2号」を加え、同項第1号中「第8条の2第5項」を「第8条の2第6項」に改める。

第4条の7第1号中「(同項第1号に規定する1月当たりの運賃等相当額(以下「1月当たりの運賃等相当額」という。))及び同項第2号に定める額の合計額が55,000円を超えるときは、その者の通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間につき、55,000円に当該支給単位期間の月数を乗じて得た額)」を削り、同条第2号中「1月当たりの運賃等相当額(2以上の交通機関等を利用するものとして通勤手当を支給される場合にあつては)」を「運賃等相当額をその支給単位期間の月数で除して得た額(交通機関等が2以上ある場合においては)」に改める。

第4条の8第1項中「第4項各号に掲げる」を「第4項に規定する」に、「当該各号」を「同項」に、「及び次条第3項」を「、次条第3項及び第4条の10第2項第2号」に改め、同条第2項中「離職し」を「離職(職員が離職の日又はその翌日(当該翌日が生駒市の休日を定める条例(平成元年4月生駒市条例第20号)第1条第1項に規定する市の休日に当たるときは、当該翌日後において当該翌日に最も近い市の休日でない日を含む。))に新たに給料表の適用を受けることとなる場合の離職を除く。以下同じ。))をし」に改め、同条第4項中「第8条の2第3項」を「第8条の2第4項」に、「次の各号に掲げる」を「1月当たりの運賃等相当額等(前条第3号に掲げる職員に係るものを除く。))及び条例第8条の2第2項第2号に定める額(前条第2号に掲げる職員に係るものを除く。))の合計額(第4条の10第2項において「1月当たりの通勤手当算出基礎額」という。))が150,000円を超えるときにおける」に、「同項」を「条例第8条の2第4項」に、「当該通勤手当の区分に応じ、当該各号に定める期間」を「その者の当該通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間」に改め、同項各号を削る。

第4条の10第1項中「第8条の2第4項」を「第8条の2第5項」に改め、同条第2項中「交通機関等に係る通勤手当に係る」を削り、「第8条の2

第4項」を「第8条の2第5項」に改め、同項第1号中「運賃等相当額等（第4条の7第1項第1号に掲げる職員にあっては、1月当たりの運賃等相当額及び条例第8条の2第2項第2号に定める額の合計額。以下この項において同じ。）が55,000円」を「通勤手当算出基礎額が150,000円」に、「運賃等相当額等が55,000円」を「通勤手当算出基礎額が150,000円」に、「すべての」を「全ての」に改め、同項第2号を次のように改める。

(2) 1月当たりの通勤手当算出基礎額が150,000円を超えていた場合 150,000円に事由発生月の翌月から支給単位期間等に係る最後の月までの月数を乗じて得た額又は前項各号に掲げる事由に係る交通機関等についての払戻金相当額及び市長の定める額の合計額のいずれか低い額（事由発生月が支給単位期間に係る最後の月である場合にあっては、零）

第4条の10第3項中「第8条の2第4項」を「第8条の2第5項」に改め、「ときは、」の次に「市長の定めるところにより」を加える。

第4条の11第1項中「第8条の2第5項」を「第8条の2第6項」に改める。

第4条の19に次の1項を加える。

3 第1項の規定にかかわらず、任命権者において配偶者等との別居の状況等を認定することができる場合として市長が定める場合には、同項の規定による届出を要しない。

第4条の20第1項に後段として次のように加える。

前条第3項に規定する場合においても、同様とする。

第4条の21第1項中「欠くに至った日」の次に「（市長が定める場合にあっては、当該要件を欠くに至った日以降の日で市長が定める日）」を加える。

第5条の6第1項ただし書中「ただし、」の次に「同条第1項の」を加え、同条第2項中「勤務は、」の次に「同条第1項の」を加え、同条第4項を次の

ように改める。

4 次に掲げる場合には、条例第14条の3第2項の規定による管理職員特別勤務手当を支給しない。この場合において、職員がした同項の勤務は、同条第1項の勤務とみなす。

(1) 条例第14条の3第1項の勤務をした後、引き続いて同条第2項の勤務をした場合

(2) 条例第14条の3第2項の勤務をした後、引き続いて同条第1項の勤務をした場合

第9条の2第1項の表中備考以外の部分を次のように改める。

職員	加算割合
(1) 職務の級が8級の職員	100分の20
(2) 職務の級が7級の職員	100分の15
(3) 職務の級が6級の職員のうち当該職務の級における相当の経験を有し、かつ、困難な業務を行う職員であると市長が認めるもの	
(4) 職務の級が6級の職員(前号に掲げる職員を除く。)	100分の10
(5) 職務の級が5級の職員	
(6) 職務の級が4級の職員	100分の5
(7) 職務の級が3級の職員	100分の3

(初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部改正)

第2条 初任給、昇格、昇給等に関する規則(昭和41年11月生駒市規則第6号)の一部を次のように改正する。

別表第2中「中学卒」を「高校卒」に改める。

別表第4を次のように改める。

別表第4（第5条関係）

経験年数換算表

経歴		換算率	備考
国、地方公共団体、旧公共企業体、政府関係機関、外国政府又は民間における企業体、団体等の職員等としての在職期間	職員としての職務にその経験が直接役立つと認められる職務に従事した期間(常時勤務に服する者として職務に従事した期間又はこれに準ずる期間に限る。)	10割	
	その他の期間	10割以下	
学校又は学校に準ずる教育機関における在学期間		10割以下	在学期間は、正規の修学年数の範囲内とする。
その他の期間	職員としての職務にその経験が直接役立つと認められる職務に従事した期間	10割以下	
	その他の期間	2割5分以下	部内の他の職員との均衡を著しく失う場合は、5割以下

別表第5中

調整年数			
大学卒	短大卒	高校卒	中学卒
5年	7年	9年	12年
2年	4年	6年	9年
2年	4年	6年	9年
2年	4年	6年	9年
1年	3年	5年	8年
	2年	4年	7年
△1年	1年	3年	6年
△2年		2年	5年
△3年	△1年	1年	4年
△3年	△1年	1年	4年
△4年	△2年		3年
△5年	△3年	△1年	2年
△7年	△5年	△3年	

を

「

調整年数		
大学卒	短大卒	高校卒
5年	7年	9年
2年	4年	6年
2年	4年	6年
2年	4年	6年
1年	3年	5年
	2年	4年
△1年	1年	3年
△2年		2年
△3年	△1年	1年
△3年	△1年	1年
△4年	△2年	
△5年	△3年	△1年
△7年	△5年	△3年

に改める。

」

別表第7から別表第8までを次のように改める。

別表第7（第10条関係）

昇格時号給対応表

昇格した日の前 日に受けていた 号給	昇格後の号給						
	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
1	1	1	1	1	1	1	1
2	1	1	1	1	1	1	1
3	1	1	1	1	1	1	1
4	1	1	1	1	1	1	1
5	1	1	1	1	1	1	1
6	1	1	1	1	1	1	1
7	1	1	1	1	1	1	1
8	1	1	1	1	1	1	1
9	1	1	1	1	1	1	1
10	1	1	1	2	1	1	1
11	1	1	1	3	1	1	1
12	1	1	1	4	1	1	1
13	1	1	1	5	1	1	2
14	1	1	1	6	2	1	2
15	1	1	1	7	3	1	2
16	1	1	1	8	4	1	2
17	1	1	1	9	5	1	2
18	1	1	1	10	6	2	3
19	1	1	1	11	7	3	3
20	1	1	1	12	8	4	3
21	1	1	1	13	9	5	3
22	1	2	2	14	10	5	4
23	1	3	3	15	11	6	4
24	1	4	4	16	12	6	4
25	1	5	5	17	13	7	4
26	1	6	6	18	14	7	4
27	1	7	7	19	15	8	4
28	1	8	8	20	16	8	4
29	1	9	9	21	17	9	5
30	1	10	10	22	18	9	5
31	1	11	11	23	19	10	5
32	1	12	12	24	20	10	5
33	1	13	13	25	21	11	5
34	2	14	14	26	22	11	5
35	3	15	15	27	23	12	5
36	4	16	16	28	24	12	5
37	5	17	17	29	25	13	5
38	6	18	18	30	26	13	5

39	7	19	19	31	27	13	5
40	8	20	20	32	28	13	5
41	9	21	21	33	29	14	5
42	10	22	22	34	29	14	5
43	11	23	23	35	30	14	5
44	12	24	24	36	30	14	5
45	13	25	25	37	31	15	5
46	14	26	26	38	31	15	
47	15	27	27	39	32	15	
48	16	28	28	40	32	15	
49	17	29	29	41	33	15	
50	18	30	30	42	33	15	
51	19	31	31	43	34	15	
52	20	32	32	44	34	15	
53	21	33	33	45	35	15	
54	21	33	34	46	35	15	
55	22	34	35	47	36	15	
56	22	34	36	48	36	15	
57	23	35	37	49	37	15	
58	23	35	37	50	37	15	
59	24	36	37	51	38	15	
60	24	36	38	52	38	15	
61	25	37	38	53	38	15	
62	25	38	38	54	38	15	
63	26	39	39	55	38	15	
64	26	40	39	56	38	15	
65	27	41	39	57	38	15	
66	27	41	40	58	38	16	
67	28	42	40	59	38	16	
68	28	42	40	60	38	16	
69	29	43	41	60	39	16	
70	29	43	41	60	39	16	
71	29	44	41	60	39	16	
72	30	44	42	60	39	16	
73	30	45	42	61	39	17	
74	30	45	42	61	39		
75	31	45	43	61	39		
76	31	45	43	61	39		
77	31	45	43	61	39		
78	32	46	44	62	39		
79	32	46	44	62	39		
80	32	46	44	62	39		
81	33	46	45	63	40		
82	33	46	45	64	40		
83	33	47	45	65	40		

84	34	47	45	66	40		
85	34	47	46	67	41		
86	34	47	46				
87	35	47	46				
88	35	48	46				
89	35	48	47				
90	36	48	47				
91	36	48	47				
92	36	48	47				
93	37	49	47				
94		49	47				
95		49	47				
96		49	48				
97		49	48				
98		50	48				
99		50	48				
100		50	48				
101		50	48				
102		50	48				
103		51	49				
104		51	49				
105		51	49				
106		51	49				
107		51	49				
108		52	49				
109		52	49				
110		52					
111		52					
112		52					
113		52					
114		52					
115		52					
116		52					
117		53					
118		53					
119		53					
120		53					
121		53					
122		53					
123		53					
124		53					
125		53					

別表第7の2（第11条関係）

降格時号給対応表

降格した日の前 日に受けていた 号給	降格後の号給						
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
1	33	21	21	9	13	17	12
2	33	22	22	10	14	18	17
3	33	23	23	11	15	19	21
4	34	24	24	12	16	20	28
5	35	25	25	13	17	22	45
6	36	26	26	14	18	24	45
7	38	27	27	15	19	26	45
8	39	28	28	16	20	28	45
9	41	29	29	17	21	30	45
10	42	30	30	18	22	32	
11	43	31	31	19	23	34	
12	44	32	32	20	24	36	
13	45	33	33	21	25	40	
14	46	34	34	22	26	44	
15	47	35	35	23	27	65	
16	48	36	36	24	28	72	
17	49	37	37	25	29	73	
18	50	38	38	26	30	73	
19	51	39	39	27	31	73	
20	52	40	40	28	32	73	
21	54	41	41	29	33	73	
22	56	42	42	30	34	73	
23	58	43	43	31	35	73	
24	60	44	44	32	36	73	
25	62	45	45	33	37	73	
26	64	46	46	34	38	73	
27	66	47	47	35	39	73	
28	68	48	48	36	40	73	
29	71	49	49	37	42	73	
30	74	50	50	38	44	73	
31	77	51	51	39	46	73	
32	80	52	52	40	48	73	
33	83	54	53	41	50	73	
34	86	56	54	42	52	73	
35	89	58	55	43	54	73	
36	92	60	56	44	56	73	
37	93	61	59	45	58	73	
38	93	62	62	46	68	73	

39	93	63	65	47	80	73	
40	93	64	68	48	84	73	
41	93	66	71	49	85	73	
42	93	68	74	50	85	73	
43	93	70	77	51	85	73	
44	93	72	80	52	85	73	
45	93	77	84	53	85	73	
46	93	82	88	54	85		
47	93	87	95	55	85		
48	93	92	102	56	85		
49	93	97	109	57	85		
50	93	102	109	58	85		
51	93	107	109	59	85		
52	93	116	109	60	85		
53	93	125	109	61	85		
54	93	125	109	62	85		
55	93	125	109	63	85		
56	93	125	109	64	85		
57	93	125	109	65	85		
58	93	125	109	66	85		
59	93	125	109	67	85		
60	93	125	109	72	85		
61	93	125	109	77	85		
62	93	125	109	80	85		
63	93	125	109	81	85		
64	93	125	109	82	85		
65	93	125	109	83	85		
66	93	125	109	84	85		
67	93	125	109	85	85		
68	93	125	109	85	85		
69	93	125	109	85	85		
70	93	125	109	85	85		
71	93	125	109	85	85		
72	93	125	109	85	85		
73	93	125	109	85	85		
74	93	125	109	85			
75	93	125	109	85			
76	93	125	109	85			
77	93	125	109	85			
78	93	125	109	85			
79	93	125	109	85			
80	93	125	109	85			
81	93	125	109	85			
82	93	125	109	85			
83	93	125	109	85			

84	93	125	109	85			
85	93	125	109	85			
86	93	125					
87	93	125					
88	93	125					
89	93	125					
90	93	125					
91	93	125					
92	93	125					
93	93	125					
94	93	125					
95	93	125					
96	93	125					
97	93	125					
98	93	125					
99	93	125					
100	93	125					
101	93	125					
102	93	125					
103	93	125					
104	93	125					
105	93	125					
106	93	125					
107	93	125					
108	93	125					
109	93	125					
110	93						
111	93						
112	93						
113	93						
114	93						
115	93						
116	93						
117	93						
118	93						
119	93						
120	93						
121	93						
122	93						
123	93						
124	93						
125	93						

別表第 8（第 1 3 条関係）

昇給号給数表

1 7 級以下職員昇給号給数表

昇給区分	S	A	B	C	D
昇給の号給数	8以上	6	4	2	0
	2以上	1	0	0	0

備考

- この表は、職務の級が 7 級以下である職員に適用する。
- この表に定める上段の号給数は条例第 4 条第 5 項第 1 号に掲げる職員以外の職員に、下段の号給数は同号に掲げる職員に適用する。

2 8 級職員昇給号給数表

昇給区分	S	A	B	C	D
昇給の号給数	2	1	0	0	0

備考 この表は、職務の級が 8 級である職員に適用する。

（生駒市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する規則の一部改正）

第 3 条 生駒市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する規則（平成 20 年 6 月生駒市規則第 1 3 号）の一部を次のように改正する。

第 5 条中「特定任期付職員（条例第 7 条第 1 項に規定する特定任期付職員をいう。以下同じ。）」を「条例第 7 条第 1 項に規定する特定任期付職員」に改める。

第 6 条及び第 7 条を削り、第 8 条を第 6 条とし、第 9 条を第 7 条とし、第 10 条を第 8 条とする。

（技能職員の給与等に関する規則の一部改正）

第 4 条 技能職員の給与等に関する規則（昭和 4 1 年 1 2 月生駒市規則第 9 号）の一部を次のように改正する。

第 6 条第 4 項中「、住居手当」を削る。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和7年4月1日から施行する。

(切替日における昇格又は降格の特例)

- 2 令和7年4月1日(以下「切替日」という。)に昇格し、又は降格した職員については、当該昇格又は降格がないものとした場合にその者が切替日に受けることとなる号給を切替日の前日に受けていたものとみなして第2条の規定による改正後の初任給、昇格、昇給等に関する規則第10条又は第11条の規定を適用する。